

愛知県環境影響評価審査会田原中山風力発電部会 会議録

- 1 日時 2020年(令和2年)7月8日(水)午前10時から午前11時40分まで
- 2 場所 愛知県三の丸庁舎 地下1階 B101会議室
- 3 議事
 - (1) 部会長の選任について
 - (2) (仮称)田原中山風力発電事業に係る環境影響評価方法書について
 - (3) その他
- 4 出席者
 - (1) 委員
夏原部会長、伊藤委員、佐野委員、塚田委員、中野委員、吉永委員(以上6名)
 - (2) 事務局
環境局：
小野技監、加藤環境政策部長
環境局環境政策部環境活動推進課：
永井担当課長、戸田課長補佐、国立主査、岩川主査、中島主任(以上7名)
 - (3) 事業者等
4名
- 5 傍聴人
2名
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ア 部会長の選任について
 - ・ 資料1について、事務局から説明があった。
 - ・ 部会長について、夏原委員が互選により選出された。
 - ・ 部会長代理について、夏原部会長が佐野委員を指名した。
 - ・ 会議録の署名について、夏原部会長が伊藤委員と吉永委員を指名した。
 - イ (仮称)田原中山風力発電事業に係る環境影響評価方法書について
 - ・ 資料2から資料5について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【伊藤委員】騒音の調査について、騒音6の地点は、建設機械だけを調査するということか。

【事務局】方法書298ページの記載のとおり、騒音6の地点は、建設機械の稼働についての影響を調査・予測・評価する地点として設定されている。今回の事業実施区域は、風力発電機が立地する場所の他、大型部品を輸送する際

に、拡幅工事する箇所も設定されている。拡幅工事の際に建設機械の稼働を伴うため、建設機械の稼働に関する調査・予測・評価地点として設定されている。

【伊藤委員】一般市民とのリスクコミュニケーションの点において、騒音は重要な問題である。国内外の過去の報告を見ると、アノイアンス（わずらわしさ）や人が感じないレベルで建物ががたつくという話もあり、これに関しては低周波騒音との関係があるのではないかとされている。低周波騒音と健康影響には不確実な部分が多く、睡眠障害などとの関係は明らかになっていない。このため、騒音や低周波音に関しては、できるだけ多地点で調査していただくのが良い。特に、騒音1から騒音5までの地点は、風力発電機が視認される可能性がある範囲内ということで設定されているが、見えるということ自体がストレスに繋がっている可能性はある。このため、見えない地域と比較するようなデータがないことには、本当に騒音の影響で健康影響や不快感が出ているか判断できない。また、騒音6の地点は、国道の近くであることから、他の地点と比較して元々の騒音が大きいと考えられるため、できる限り地点を増やしていただくのが良いのではないかと。

【事務局】騒音6の地点は、一時的な拡幅工事を行うことから、調査する地点である。風力発電機の稼働についての予測地点については、比較的距離の離れた地点も含めて5地点が設定されている。騒音レベルの予測の中で風力発電機が視認されるか否かを考慮することは難しいことから、住居の立地状況なども勘案して調査地点を5地点設定している。指摘のアノイアンスについては、環境省の「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」に基づき評価することとなっており、騒音6の地点より近い騒音1から騒音5までの地点で調査・予測・評価を実施する。この指針では、自動車の走行音など一時的で特定可能な騒音をすべて除いた残留騒音に5デシベルを加えた、非常に低い値が指針値になっている。予測・評価の結果を踏まえ、必要に応じて、視認できないところとの比較などを行っていただくことになると考える。

【伊藤委員】既設の風力発電機があることから、事前に稼働している時と稼働していない時で調査を実施することはできないか。また、建物の種類や人の感じ方は個人差があるため、騒音の地点はしっかりと確保していただき、年代が偏らないようにして、感受性の高い方や年代が幅広くとれる形で調査していただきたい。

【事務局】指針値を遵守しても、低周波音等を感じる方がいる可能性はある。事業者は、既設の風力発電機についても対応していると思うが、今回の新規の施設についても、気になる方がいれば、個別に調査して対応していくよう指導する。

【中野委員】環境影響評価の項目の選定において、水質は選定しないことになっているが、アルカリ排水や濁水に関する指摘があるため、しっかり対応する必要があると考える。

【事務局】水質に関しても、多くの委員から指摘いただいた。事業者は、これから現地調査して事業計画を検討するとしているため、部会報告（案）に盛り込ませていただいた。後ほど、審議いただきたい。

【塚田委員】配慮書段階では、範囲が示されており、その中に風力発電機を狭い間隔で配置と考えられることから、ほぼ配慮の余地がない状況であった。方法書段階では、風力発電機の具体的な配置は決まったのか。配慮書段階から、事業範囲が変わっていないのが、それぞれの風力発電機の配置に進展はあったのか確認したい。ローター径や風力発電機の高さは決まっていないようだが、それらの諸元が決まらなると、鳥類の衝突確率の算出を行うことはできない。どの段階で事業計画を決定するのか。

【事務局】例えば、高さは幅を持った表記となっているなど、方法書の現時点では決定していない。事業者は、これから現地調査して、その結果を踏まえ、準備書の段階で決定するとしている。

【塚田委員】風力発電機の配置は決まっているのか。

【事務局】配置も同様である。方法書に記載されている配置は、あくまで仮のものである。

【塚田委員】例えば、衝突確率の算出や騒音の予測のためには、何等かの条件を設定する必要がある。具体的にいつの段階で事業計画が決定するのか。

【事務局】事業者は、現地調査を実施した結果を踏まえ、諸元を決定した上で予測及び評価を実施する予定としているため、準備書段階に決定するとしている。

【塚田委員】本来であれば、配慮書から方法書に進んだ段階で、事業計画が決まっていく必要があると考える。本来の進め方をしていただきたいという点を指摘しておく。

【事務局】委員から事業計画に関する質問・指摘を多数いただいたため、部会報告（案）に盛り込ませていただいた。後ほど、審議いただきたい。

【吉永委員】自然エネルギーの利用の専門の立場から申し上げますと、風況と鳥類への影響は、風力発電機の諸元に大きく影響する。鳥類の影響を回避するため、風力発電機の基数を変えずにすべての風力発電機を小さくするのか、または風力発電機の高さは変えずに基数を減らしていくのかによって得られる出力は全く変わってくる。配置のパターンについても、鳥類やコウモリなどの周辺環境の状況によって変わってくるため、決めにくいと考える。諸元が決まっていないことに関しては、火力発電所などの設備が決まっていれば定格通り動くというものと違うのは仕方ない。配慮書段階では、計画出力や基数は考えられる最大限の諸元を記載しているとのことであったため、最大限の範囲が保証されているのであれば、現時点では仕方ないと考える。

また、騒音について、本件に関しては、既設の風力発電機が立地している。資料4の指摘事項2-6において、既設の風力発電機についての問題になった事例などについて、地元住民と十分にコミュニケーションができて、建設時・供用時に問題となった事項はなかった、あるいは問題があったが対応したとの見解である。このため、累積的影響は別として、既設の風力発電機より大きな規模の施設ではあるが、根本的な問題については回避されているのではないかと考える。

【事務局】累積的影響に関しては、部会報告（案）に盛り込ませていただいた。後ほど、審議いただきたい。

- ・ 資料6について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【塚田委員】部会報告はよくまとめていただいている。3ページの(6)「年間衝突予測数の算出に当たっては、複数の回避率を用いて算出すること」については、私の意見を取り入れていただいた。どれくらいの回避率を考えているのか補足説明する。ほとんどの風力発電機の環境アセスメントでは、「スコティッシュ・ナチュラル・ヘリテージ」が出している回避率が使用されていて、回避率がよく分かっていない鳥類の回避率のデフォルト値として0.98が示されている。一方で、研究が進んでいるごく僅かな種、例えば、オジロワシについては0.95という回避率である。オジロワシのような海浜性のワシ類については、国の天然記念物であるにも関わらず、北海道でもすごくたくさん衝突しており、生息数の何パーセントも死んでいるという状況になっている。今回は、海岸付近に計画している風力発電機であり、オジロワシはいないが、ミサゴは衝突する可能性がある。この種についても、具体的な回避率のデータはない。事業者としては、デフォルト値の0.98を採用したいと思うが、これに加えて0.95の回避率も使用して算出していただきたい。

【事務局】事業者には、委員の指摘を踏まえ、知事意見の主旨をしっかりと伝える。

【夏原部会長】事務局から説明のあった部会報告(案)について、特段、修正を要する意見はないため、この案のとおり部会報告としてよろしいか。

(委員から意見等はなし)

【夏原部会長】異議なしとされたので、このまま部会報告とする。

- ・ 資料6の「(仮称)田原中山風力発電事業に係る環境影響評価方法書についての部会報告(案)」を、このまま部会報告とすることです承された。

ウ その他

- ・ 特になし。

(3) 閉会